

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2013-30122(P2013-30122A)  
 【公開日】平成25年2月7日(2013.2.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-007  
 【出願番号】特願2011-167440(P2011-167440)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)  
 G 0 6 F 3/14 (2006.01)  
 H 0 4 N 5/225 (2006.01)  
 H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A  
 G 0 6 F 3/048 6 5 1 Z  
 G 0 6 F 3/048 6 5 3 A  
 G 0 6 F 3/14 3 1 0 Z  
 G 0 6 F 3/14 3 3 0 A  
 H 0 4 N 5/225 F  
 H 0 4 N 5/225 A  
 H 0 4 N 101:00

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年7月25日(2014.7.25)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

自装置の傾き角度を示す表示アイテムを表示する第1の表示手段を有する撮像装置と通信可能な表示制御装置であって、

前記撮像装置の傾き角度の情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した傾き角度の情報に基づいて、前記撮像装置の傾き角度を示す表示アイテムを第2の表示手段に表示させるための表示制御手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記第1の表示手段に表示される表示アイテムの示す傾き角度と正負を逆転した傾き角度を示す表示アイテムを、前記第2の表示手段に表示するように制御することを特徴とする表示制御装置。

【請求項2】

前記取得手段は、更に前記撮像装置からライブビュー画像を取得し、

前記表示制御手段は、前記第2の表示手段において前記ライブビュー画像に前記表示アイテムを重畳して表示する、ことを特徴とする請求項1に記載の表示制御装置。

【請求項3】

前記取得手段は、更に前記撮像装置からライブビュー画像を取得し、

前記表示制御手段は、前記第2の表示手段において、前記ライブビュー画像を表示するとともに、該ライブビュー画像の表示領域外に前記表示アイテムを表示する、ことを特徴とする請求項1に記載の表示制御装置。

【請求項4】

前記取得手段は、更に前記撮像装置の動作の状態を取得し、

前記表示制御手段は、前記撮像装置が所定の動作を実行している間は前記第2の表示手段における前記表示アイテムを消去する、または、前記第2の表示手段における前記表示アイテムの表示の透過率を増加させる、ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の表示制御装置。

【請求項5】

前記表示制御手段は、前記取得手段により取得されたライブビュー画像から画像特徴量を取得し、取得した画像特徴量に基づいて、前記第2の表示手段における前記表示アイテムの表示を実行するか否かを制御することを特徴とする請求項2または3に記載の表示制御装置。

【請求項6】

撮像装置であって、

外部機器に映像情報を出力可能な接続手段と、

当該撮像装置の傾き角度を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した傾き角度の正負を反転させた傾き角度を示す表示アイテムを含む映像を生成する生成手段と、

前記生成手段で生成された映像を前記接続手段に接続された外部機器へ出力する出力手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項7】

ライブビュー表示を行うためのライブビュー画像を生成する手段を更に備え、

前記表示アイテムを含む映像は、前記表示アイテムを前記ライブビュー画像に重畳した映像であることを特徴とする請求項6に記載の撮像装置。

【請求項8】

外部機器が前記接続手段に接続されていることを検出する検出手段を更に備え、

前記生成手段は、前記検出手段により外部機器が接続されていることが検出された場合に、前記表示アイテムを含む映像を生成する、ことを特徴とする請求項6または7に記載の撮像装置。

【請求項9】

自装置の傾き角度を示す表示アイテムを表示する第1の表示手段を有する撮像装置と通信可能な表示制御装置の制御方法であって、

取得手段が、前記撮像装置の傾き角度の情報を取得する工程と、

表示制御手段が、前記取得する工程で取得した傾き角度の情報に基づいて、前記撮像装置の傾き角度を示す表示アイテムを第2の表示手段に表示させるように表示を制御する工程と、を有し、

前記表示を制御する工程では、前記第1の表示手段に表示されている表示アイテムの示す傾き角度と正負を反転した傾き角度を示す表示アイテムを、前記第2の表示手段に表示させるように制御することを特徴とする制御方法。

【請求項10】

外部機器に映像情報を出力可能な接続手段を備えた撮像装置の制御方法であって、

取得手段が、当該撮像装置の傾き角度を取得する工程と、

生成手段が、前記取得する工程で取得した傾き角度の正負を反転させた傾き角度を示す表示アイテムを含む映像を生成する工程と、

出力手段が、前記生成する工程で生成された映像を前記接続手段に接続された外部機器へ出力する工程と、を有することを特徴とする制御方法。

【請求項11】

コンピュータに、請求項9または10に記載された制御方法の各工程を実行させるためのプログラム。

【請求項12】

請求項11に記載のプログラムを格納したコンピュータによる読み取りが可能な記憶媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記の目的を達成するための本発明の一態様による表示制御装置は以下の構成を備える。  
すなわち、

自装置の傾き角度を示す表示アイテムを表示する第１の表示手段を有する撮像装置と通信可能な表示制御装置であって、

前記撮像装置の傾き角度の情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した傾き角度の情報に基づいて、前記撮像装置の傾き角度を示す表示アイテムを第１の表示手段に表示させるための表示制御手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記第１の表示手段に表示される表示アイテムの示す傾き角度と正負を逆転した傾き角度を示す表示アイテムを、前記第２の表示手段に表示するように制御する。